

「北海道の森を元気にしよう！」協働プロジェクトのご紹介



北海道の森を元気にしよう!  
「北海道の森に乾杯!」缶 **数量限定**

コープさっぽろの  
麦とホップ  
を飲んで

限定缶1本お買い上げ頂くと  
1円が道内の森林保全に  
活用されます。



■北海道水産林務部森林環境局道有林課  
道有林管理グループ 主幹 廣畑 清

■サッポロビール株式会社 北海道本社  
北海道戦略営業部 副部長 清水 周子

■生活協同組合コープさっぽろ 経営企画室  
環境推進マネージャー 鈴木 昭徳

## 北海道が進める民間企業との協働



平成25年度実績  
 ・参加企業 40  
 ・協定数 33  
 ・事業件数 500超



平成19年2月  
 北海道とサッポロホールディングス、  
 サッポロビールとの包括連携協定



平成25年2月  
 北海道と生活協同組合コープさっぽろとの包括連携協定



## 道有林クレジット(J-VER)

道有林は、北海道が所有し、整備・管理している森林で、面積は約61万ヘクタール(茨城県とほぼ同じ広さ)、北海道の土地面積の約8%、森林面積の約11%を占めています。



### 羊蹄山と大雪山旭岳山麓

の森林においてJ-VERの認証を受けた二酸化炭素吸収クレジット量4,362CO2トンを、環境活動に取り組む企業や団体等に販売し、北海道の森林づくりに活かす取組を進めています。



羊蹄山(道有林後志管理区)



旭岳(道有林上川南管理区)

道有林クレジットは、地域と連携した森林づくりを進めるため、原則として**上士幌町など13の市町村**が保有する**オフセット・クレジット(J-VER)**と**同時に販売**しています。  
 (販売割合:1/2ずつ)



旭岳山麓の道有林



上士幌町

**森林を活用したカーボン・オフセットの取組**が、**地球温暖化の防止**に貢献するだけでなく、民間企業と行政が協働して**北海道の豊かな森林を守り育て**いくとともに、**企業と山村との交流を促進**するなど、**地域の活性化**につながることを期待しています。



## 「北海道庁赤れんが」での共同会見

2013年11月3日



話題性が高まり  
 販促面での成果があり、  
 活動にスケール感が  
 増しました。

インスタシアもUP!

新聞7紙、TV5局、雑誌3社、多数のメディアに  
 取り上げられ、広告換算すると約605万円に！(電通調べ)



## 手にとっていただきやすい こだわりの缶デザイン

缶のデザイン内に、カーボン・  
オフセットの証明と証明書を  
組み込みました。



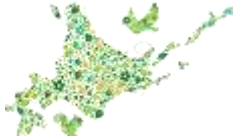
「麦とホップ」を飲みながら森林保全、CO2削減にご協力いただくことで、  
北海道の森を元気にし、緑豊かな北海道の環境を未来へ引き継いでい  
けるよう願っています。



## コープさっぽろ108店舗で販売！



こちらのスキームでビールと一緒に販売



## 販売実績

認知を広めるにはかなりの数量

◆販売本数: 55,700ケース × 24缶 = 1,336,800缶

◆排出権販売金額: 1,350,000円(税別)

= 約89.1t-CO2(約66.67g-CO2/本\* × 55,700ケース × 24缶)

\*排出権の単価: 15,000円(税別)/t-CO2より

◆排出権活用量

90t-CO2

◆排出権のプロジェクト名と総量:

- ①「北海道有林森林吸収エコビジネス支援プロジェクト  
～「キキタの森」の間伐促進プロジェクト～ :45t-CO2
- ②上士幌町有林間伐促進プロジェクト  
(次世代に引き継ぐ豊かな森林づくりプロジェクト) :45t-CO2



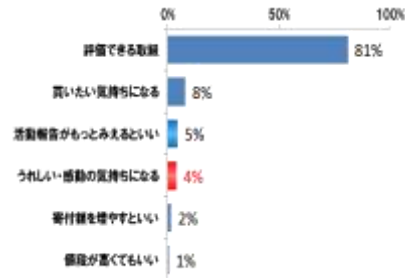
## 組合員の評価

### 【キャンペーンの認知】

(n=112)



### 【キャンペーンへの思い】



「サッポロ麦とホップ 北海道の森に乾杯缶」をご存知のお客様で、森林保全への貢献活動をご存知なのは3分の1弱。

自由記述の内容を6つの要素に当てはめてみたところ、「評価できる取組」80%以上、「買いたい気持ちになる」8%など高評価。(1つの回答に複数の要素が含まれるものもあるため合計は100%にならない)



## 今後の取り組み

「北海道の森を元気にしよう！」共同キャンペーン第2弾を実施！  
2014年7月9日～

寄付額、インパクトも更に拡大



「麦とホップ」の1アイテムから6アイテムに拡大

北海道の森を元気にし、  
緑豊かな北海道の環境を  
未来へ引き継いでいきたいと願っています。

